

メルコパワーセミコンダクタチップ 株式会社 様の両立支援の状況

【基準を満たしている項目】

行動計画で定めた目標を達成したこと

行動計画で定めた目標は以下のとおり

○男性従業員の育児休業取得率を20%以上とする

○年次有給休暇の取得促進のための措置を図る

→社内で作成した説明資料を基に全従業員に対して備付ファイルにて育児休業制度や給付金制度の周知を行い、計画期間中の育児休業取得率は57%であった。また、年次有給休暇の計画的付与制度を導入し、給与明細等に保有日数を表示させる仕組みを構築し、周知を行った。

計画期間中における育児休業取得率

男性の育児休業取得率：57%

年次有給休暇の計画的付与制度及び在宅勤務制度を導入していること

時間外労働及び休日労働に関する状況

○直近の事業年度における労働者一人当たりの各月ごとの時間外労働及び休日労働の合計時間数

合計時間数が各月全て45時間未満



Q1 仕事と子育ての両立の取組において、従業員の方の声をお聞かせください。

<育児休業を取得した男性社員の感想 1 人目（取得期間 約 2 週間を 2 回、分割取得）>

次男の誕生にあたり、育児休業を取得させていただきました。

当時は取得するか悩んでいましたが、会社から制度について丁寧に説明してもらう機会をいただき、分割して取得できること、給与面の影響が少ないことを知り、安心して取得を決めることができました。

実際に取得してみると、次男の育児にしっかり向き合えたことや、長男とゆっくり関わる時間が持てたことは、私自身にとって大きな経験になりました。妻からも、実家に戻っていた時期と自宅に戻った直後という、生活のリズムが大きく変わる時期に一緒に過ごしてもらえて助かったと言ってもらえ、家族にとっても本当にありがたい時間でした。

育休を取得できたのは、課員の皆様のご理解とご協力のおかげであり、大変ありがたく感じています。

今後は、次の世代が安心して育休を取得できるよう、サポートしていきたいと思います。

<両立支援にあたっての上司の声>

システム部門の業務は、期限に追われることも多く、休日や夜間に対応が必要となる場面も少なくありません。そのような中でも、社員一人ひとりが安心して育児休業を取得し、仕事と家庭を両立できるよう、部門として支援することが重要だと考えています。

私自身も、納期の厳しい業務に携わりながら子育てに向き合ってきましたが、仕事と家庭の両立には周囲の理解と組織の支えが欠かせないと実感しています。

今後も、育児休業を取得しやすい環境づくりに積極的に取り組んでいきたいと考えています。

<育児休業を取得した男性社員の感想 2 人目（取得期間 1 か月）>

私は 1 か月取得しましたが、実際に過ごしてみると、1 か月という時間はあっという間で、できることならもう少し長く育休を取得したいと感じました。

一方で、会社としては育休取得を推奨しているものの、長く取得することに対しては、職場の皆さんへご迷惑をおかけするのではないかという気持ちもありました。

そのため、今後育休を取得する方々が、より気兼ねなく取得できるような雰囲気づくりを、会社全体でさらに進めていただけるとありがたいです。

<両立支援にあたっての上司の声>

両立支援制度を活用する社員を増やすには、環境整備が必須だと思います。取得するためには、課内での理解や業務調整が必要なので、周囲の理解を深めて取得しやすい環境を整えることが大切だと思います。

Q2 行動計画における仕事と子育ての両立支援や働き方の見直しの取組において、職場内でどのような影響がありましたか。

職場内で取得しやすい雰囲気を、管理監督者、上司、同僚などみんなで作っていかうという意識形成ができたのではないかと思います。ただ、それでも心理的ハードルは依然高いため、職場内で心理的ハードルを下げる仕組み作りをしていきます。

Q3 今後の子育て・次世代支援において会社で特に力を入れて取り組みたいことを教えてください。

当社では、従業員が安心して仕事と子育てを両立し、ワークライフバランスを実現できるよう、働きやすい環境づくりに継続して取り組んでまいります。今後は、育児休業を取得した従業員の体験や声を、これから取得を検討される方へ共有することで、取得後のイメージを持っていただき、安心して制度をご活用いただけるよう支援していきたいと考えています。